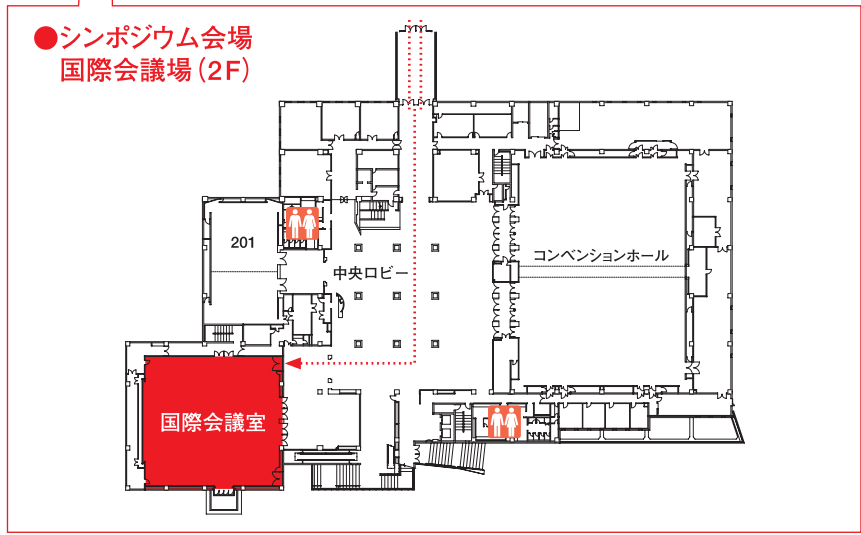
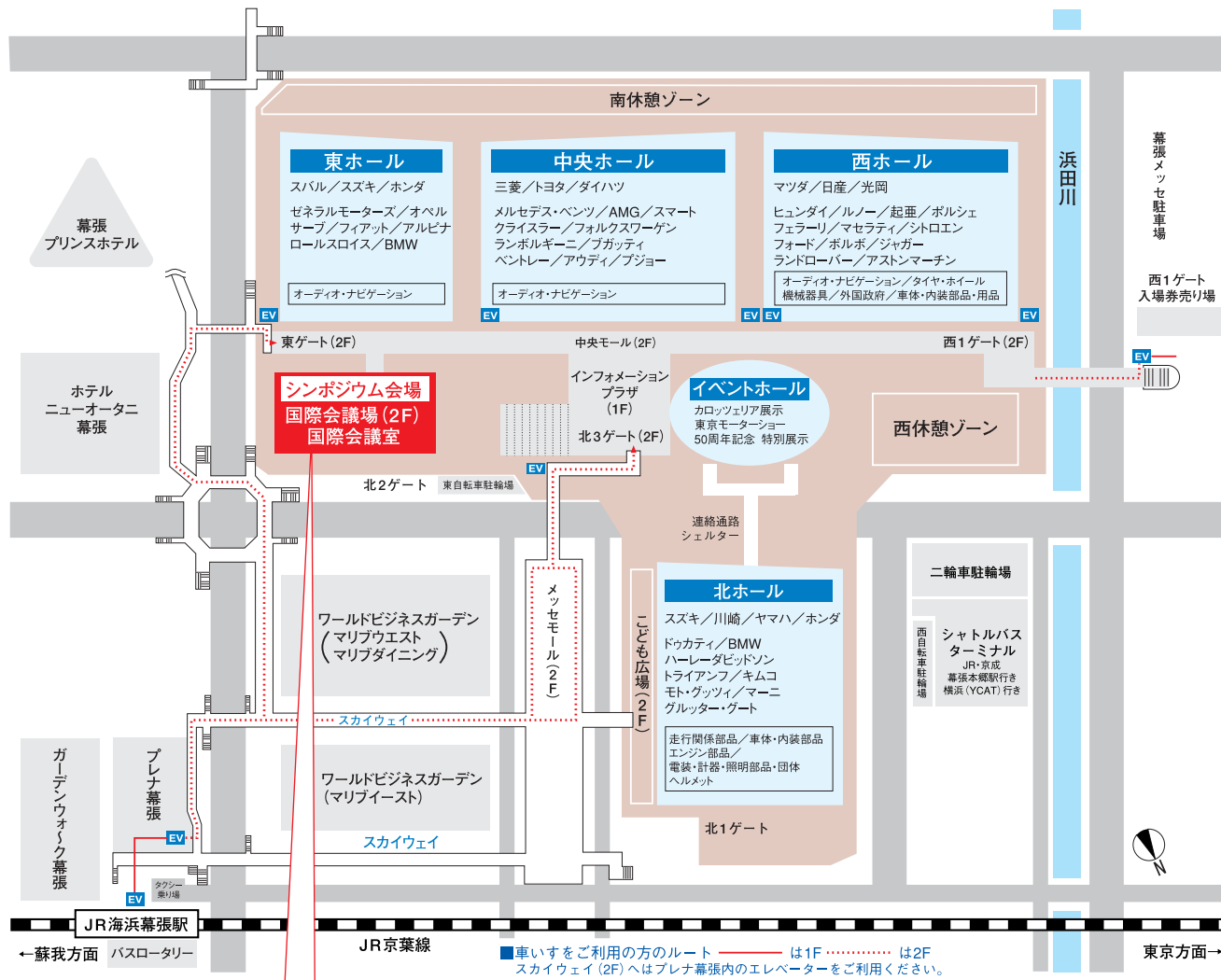
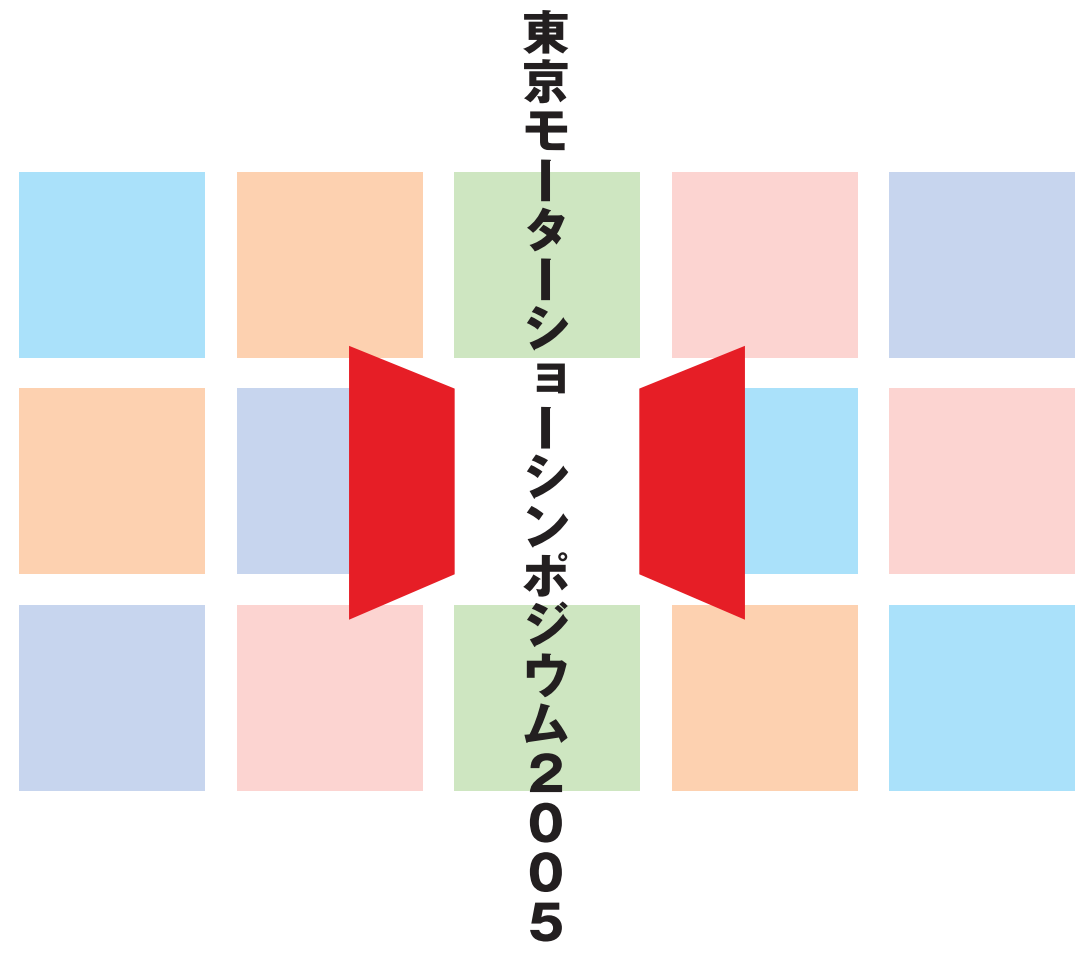


シンポジウム会場のご案内

Guide Map



人とクルマの
知的コミュニケーション。



- 開催日● 10月29日(土)～11月3日(木・祝)、11月5日(土)
 - 参加費● 無料 ※東京モーターショーの入場券が必要となります。
 - 会場● 幕張メッセ 国際会議場2F 国際会議室
- <http://www.tokyo-motorshow.com/>

The39th Passenger Cars & Motorcycles
TOKYO MOTOR SHOW 2005

第39回東京モーターショー2005 乗用車・二輪車
幕張メッセ MAKUHARI MESSE 一般公開日 10/22[土] - 11/6[日]
平日 10:00 - 18:00 土・休日 9:30 - 19:00 (特別招待日 10/21[金]) <http://www.tokyo-motorshow.com>
【入場料】一般 1,200円 中学・高校生 600円 [前売及び平日の15時以降入場料] 一般 1,000円 中学・高校生 500円 (小学生以下無料)
主催：社団法人 日本自動車工業会(JAMA) 共催：社団法人 日本自動車部品工業会(JAPIA) 社団法人 日本自動車車体工業会(JABIA) 社団法人 日本自動車機械器具工業会(JAMTA)
後援：外務省 経済産業省 国土交通省 環境省 東京都 千葉県 千葉市 国際自動車工業連合会(OICA) 日本貿易振興機構(ジェトロ)

●お問い合わせ 第39回東京モーターショー 幕張メッセ事務局 Tel.043-296-7711 受付時間 平日9:00～17:00(会期中は開催時間内)

JAMA 主催：社団法人 日本自動車工業会(モーターショー統括部)
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館

自家用車でのご来場はご遠慮ください。
ご来場には電車やバスのご利用が便利です。

専門家向けから一般向けまで、 クルマをめぐる社会的関心の高いテーマを取り上げ、 自動車業界からの最新情報を発信！

※入場には第39回東京モーターショーの入場券が必要となります。

目からウロコ！ エコドライブってとっても簡単・発見・驚き

環境省／(社)日本自動車工業会／(財)省エネルギーセンター／(独)環境再生保全機構

10/29

(土)

14:00▶16:00
国際会議場2F 国際会議室
(事前登録者優先)

地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素(CO₂)。わが国のCO₂排出量の2割を自動車占めているといわれている。少しでもCO₂を減らすには、燃費の向上が有効であるが、誰にでも簡単にできる取り組みとして、エコドライブがある。燃費を向上させて、地球に優しい！そして、ガソリン代高騰の今、お財布にも優しい！運転のプロでない、あなたにもぜひ参加していただきたい。全てのドライバーの皆さんへ、地球からの切実なお願いです。



シキタ 純
エコパーソナリティ



長谷川 理恵
ドライブ大好き人間



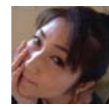
和田 由貴
節約カリスマ主婦



保阪 尚希
レーサーでもある
運転のエキスパート



菰田 潔
エコドライブ博士



鈴木 万由香
司会

広がる福祉車両の可能性

(社)日本自動車工業会

10/30

(日)

13:30▶15:00
国際会議場2F 国際会議室

高齢化社会の急激な進行と障害者の社会進出にともない、福祉車両は特別なクルマから楽しみや優しさの意味をあわせ持つ移動の手段として注目されつつある。今回のシンポジウムでは福祉車両について、利用者の立場や日本の中のクルマ社会における社会的な意味など多角的な視点から見つめ、自由闊達な討論を通して広がる可能性を展望する。



二宮 清純
スポーツジャーナリスト



ムッシュかまやつ
ミュージシャン



山本 明
ライター



石井 重行
(株)オーエックスエンジニアリング
代表取締役会長



小谷 あゆみ
キャスター、
エッセイスト

持続可能なモビリティへの一歩

(財)日本自動車研究所／International Energy Agency

10/31

(月)

13:00▶17:00
国際会議場2F 国際会議室
(事前登録者優先)

自動車社会の未来は地球規模での環境・エネルギー問題と不可分の関係にある。特に、地球温暖化をはじめとする様々な課題や、急成長するアジアの自動車市場を前に、環境・エネルギー・産業・社会の調和を図る持続可能なモビリティが各国で求められている。本シンポジウムでは、電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車など電動車を中心に、技術・政策・市場のそれぞれの観点から持続可能な自動車社会を展望する。(後半はIEA Hybrid & Electric Vehicle Implementing Agreement Annex XI: Electric Two Wheelersに基づく電動2輪に関する公開ワークショップを開催)



石谷 久
WEVA会長/
慶應義塾大学教授



伊藤 慎介
経済産業省
製造産業局
自動車課
課長補佐



渡辺 正五
(財)日本自動車研究所
FC-EVセンター次長



吉田 裕明
三菱自動車工業(株)
技術開発本部
先行車両技術部
シニアエキスパート



松田 克彦
ヤマハ発動機(株)
EV事業推進部
EV開発室室長



Urs Schwegler
Bureau for
Transportation
Planning



Frederic Vergels
AVERE事務局長



Mo-Hua Yang
台湾工業技術研究院
材料研究所



Urs Muntwyler
IEAハイブリッド・
電気自動車実証協定
委員長

※他にも数名のパネリストを予定。

カロッツェリアの世界

(社)日本自動車工業会

11/1

(火)

14:00▶16:30
国際会議場2F 国際会議室

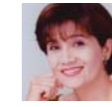
「カロッツェリアの世界、カロッツェリアはどう進化するか」生活の多様化から地球環境対策の強化まで、クルマは様々な社会の変化を受けて大きく変貌をとげてきた。これから10年後の世界は、社会のあり方、個人の生き方も今まで以上に大きく変化しているに違いない。常に「革新」と「オリジナリティ」という2つのコンセプトでクルマの世界をリードし続けてきたカロッツェリア(デザイン工房)。未来を見据えるその眼力と職人魂は10年後の世界を、地球を、社会をどのように捉え、リードしていくのか。



奥山 清行
ピニンファリーナ社
デザインディレクター



馬場 鏡成
元読売新聞論説委員
東京理科大学
専門職大学院教授



マリ・クリスティーナ
異文化コミュニケーター



清水 浩
慶應義塾大学教授



パンツェッタ・ジローラモ
エッセイスト

第6回 自動車安全シンポジウム

—対策の効果評価とこれからの自動車安全対策—

国土交通省

11/2

(水)

14:00▶17:30
国際会議場2F 国際会議室
(事前登録者優先)

平成11年6月の運輸技術審議会答申から丸5年が経過し、現在、新たな第8次交通安全基本計画を策定中であるなど、節目の年に開催される今回の自動車安全シンポジウムでは、過去に導入された主要な自動車安全対策について事後評価結果を発表するとともに、交通事故の現状を踏まえたこれからの自動車安全対策について、基調講演及びパネルディスカッションを通して議論を展開していく。



吉本 堅一
東京大学名誉教授



岩越 和紀
(株)JAFメイト社
代表取締役社長



堀野 定雄
神奈川大学工学部
助教授



岩貞 るみこ
モータージャーナリスト

近森 順
芝浦工業大学工学部機械系教授

山ノ井 利美
(社)日本自動車工業会
安全・環境技術委員会
安全部会長

谷口 哲夫
(独)交通安全環境研究所
自動車安全研究領域
研究領域長

和辻 健二
国土交通省自動車交通局
技術安全部技術企画課
国際業務室長

※他に発表者を1名ほど予定。

「自動車リサイクル」体験型学習ショー

経済産業省／環境省／(財)自動車リサイクル促進センター／(社)日本自動車工業会

11/3

(木・祝)

14:00▶16:00
国際会議場2F 国際会議室

皆さんの愛用された自動車のリサイクルを適正に進めるために、本年1月から「自動車リサイクル法」が始まりました。「どうやってリサイクルされているの?」「なぜ、リサイクルする必要があるの?」そんな皆様の疑問に、大人も子供も楽しめる体験型学習ショーでお答えしていきます。途中参加大歓迎。まずは、会場を覗いてみて下さい!!



自動車リサイクル法

第3回 みんなで考えようクルマの税金

自動車税制改革フォーラム

11/5

(土)

14:00▶15:30
国際会議場2F 国際会議室
(事前登録者優先)

自動車にかかる税金について、ほとんどのユーザーの方がどのくらいの税負担をしているのかということ把握されていない、というのが実情。まずは、自動車税制の現状について紹介をしようとして、会場の意見も交えながら、様々な観点からディスカッションを行い、自動車税制について考えていく。



石原 伸晃
衆議院議員



宮田 佳代子
フリーキャスター



テリー伊藤
演出家



御堀 直嗣
モータージャーナリスト



御堀 直嗣
モータージャーナリスト

※上記の出演者を予定。